

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらめき宜野湾				公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6		人員配置は適切であるが、日によって個々の状況でマンツーマンが必要な時もある。職員同士で声をかけあったり、他事業所からのフォローで補うこともあります。	動きのダイナミックな放デイの児童がもっと活発に動き、楽しめる環境をつくるにはどうしたらよいか考えていきます。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		児童の特性に合わせ、行動カード等をつくり示している。また、階段には手すり、トイレも未就学用、大人用と2種類設置しています。	今後それぞれの特性に合わせた表示を行っていきます。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		個別療育の部屋として利用できる部屋があるので状況に応じて個別対応しています	今後それぞれの特性に合わせた対応を行っていきます。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		対応可能な範囲で別室を利用しクールダウンするなどの対応を取っています。	今後それぞれの特性に合わせた対応を行っていきます。			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		週1回の事業所会議に情報交換や振り返りを行っています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	1	保護者向け評価表はないが、日々保護者の声に耳を傾け、情報を共有し業務改善を心がけています	皆様のご協力に感謝いたします。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		毎朝の朝礼や、週1回の事業所会議に情報交換を行い、その都度業務改善につなげています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	3	外部の第三者委員会は設けてません。	外部の第三者委員会は設けていないので出来ていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		職員のスキルアップのため支援方法や虐待防止の研修を定期的実施している。週に1回動画研修が配信されています。	これからも職員が研修を受ける時間を設けスキルアップに繋げていきたいと思ひます。		
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		月に1回きらめき宜野湾公式LINEに支援プログラムを発信しています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		モニタリング、送迎時にニーズや困り感を聞き取り、ケース会議で分析、評価をし、計画を作成しています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		ケース会議では、これまで得た情報を共有し、職員全員が共通理解し意見を出し合い計画書を作成しています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		作成した計画書は、事業所会議などで支援につなげてけるよう共有しています。	皆様のご協力に感謝いたします。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5	1	フォーマルなツールをつかったのアセスメントは出来ていないが、日々児童の行動観察などを行い職員間で共有確認しています。	全職員がわかりやすいアセスメントを作成し、同じ目線で行動観察できるように整えていきたいと思ひます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		支援計画書には児童の支援に必要な項目が記載されています	皆様のご理解に感謝します。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		活動プログラムは作成担当職員を中心に、支援員の意見を聞き作成しています。	皆様のご協力に感謝いたします。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動プログラムは作成担当職員を中心に、支援員の意見を聞き作成しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		小集団で行う活動はプログラムで作成されており、状況に応じて個別に、ニーズを組み合わせています	皆様のご協力に感謝いたします。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼で本日の活動についての打ち合わせ、職員配置など確認し支援しています	皆様のご協力に感謝いたします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		緊急な場合は支援終了後に情報共有を行い、日頃の振り返りは翌日の朝礼などで共有しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録に関しては、出来るだけその日のうちに行っているが、支援の改善、検討は必要なので行っていきます。	皆様のご協力に感謝いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングでは、これまでの支援の評価や、今後のニーズの意見を出し合い児童に合った計画書の作成を心がけています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		児童の自立に向けて、児童の意見も取り入れながら意識づくりや雰囲気づくりを行い支援へつなげています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動などで選択肢を設けてもらったり、どんなふうにしたらこの活動が楽しくなると思う？等問いかけるなどして考える力を支援しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		自発管が担当者会議や自立支援協議会などに参加し、情報の共有を心がけています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要であればその都度情報交換をする機会を設け支援へとつなげています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者よりLINEなどで情報をもらったり、学校のせんせいより情報をもらい職員で共有するようにしています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前に情報共有の会議を持ち継続した支援が出来るよう相互理解に努めています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		事業所を開所して日が浅く、まだ卒業生が出ていないため出来ていないが、対象児童が出た場合には情報の共有は必要と思います。	皆様のご協力に感謝いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		現在は出来ていませんが、必要に応じて対応していききたい。	皆様のご協力に感謝いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		現在は出来ていないが、今後計画したいと思います。	皆様のご協力に感謝いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	現場の状況によって参加できないことも多いが、現場が可能な時は参加しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃より、LINEを通して、情報を共有したり、送迎時に保護者へ確認しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		事業所内の掲示板へ掲示したり、送迎時に口頭で伝えることはあります。	皆様のご協力に感謝いたします。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		管理者が、契約時や、保護者より声があったときは説明しています。	皆様のご協力に感謝いたします。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		自発管が計画書作成に際して、子どもやご家族に意見を確認しています。	皆様のご協力に感謝いたします。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画書にサインをいただく際には内容の説明を行い同意のもとでサインしてもらっています。	皆様のご協力に感謝いたします。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族の困り感には耳を傾け面談、電話などで支援しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年に2回以上家族交流会をし、保護者同士や、家族で交流し、情報を共有できる機会を設けています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		契約時に苦情に関する体制は保護者に伝えている。玄関にボックスも設置しているが、今のところ苦情はない。保護者が困ったことに関しては情報を早めにキャッチし対応しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		きらめき宜野湾公式LINEにて活動や交流会の様子など発信しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫に書類は保管し、管理者が保管しています。写真や作品は個人が特定されないように配慮しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		絵カードやスケジュール表等を使用し、視覚支援を行うなど、特性に応じた配慮をしています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所の行事に地域の方を招くことは出来ていません。	今後他事業所の企画を参考にしながら考えていきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルはプリントアウトし、職員が困ったときにいつでも確認できる場所においてあります。また、避難訓練など年に2回以上おこなっています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		災害時などを想定した訓練は年に数回行っています。今後も専門的な訓練を検討しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者より、服薬、持病などの聞き取りは行っています。	今後は予防接種などアセスメントで聞き取りを行い、児童の健康面の把握を心がけていきたいと思えます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		現在、食物アレルギーの児童は在籍していません。契約時などに児童の状況は確認しています。	今後対象児童の利用があった場合は対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		マニュアルはプリントアウトし、職員が困ったときにいつでも確認できる場所においてあります。また、避難訓練など年に2回以上おこなっています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		必要時にはきらめき宜野湾の公式LINEで発信しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットがあった場合は、職員間で早急に情報の共有を行い、いつでも内容を確認できるように職員が見えるところにファイルを置いています。	皆様のご協力に感謝いたします
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に2回以上虐待防止の動画研修を受けています。	皆様のご協力に感謝いたします
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		管理者が利用開始時に保護者に説明をして書面にサインをもらっています	皆様のご協力に感謝いたします	